

第55期 報告書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成27年12月31日をもちまして、第55期事業年度（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月



代表取締役社長
尾崎 敦史



事業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府や日本銀行による積極的な経済・金融政策などを背景に、円安による輸出の増加、企業収益や雇用情勢の改善などがみられ、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、アメリカの金融政策正常化へ向けた影響、中国の経済成長の減速、新興国における景気調整の継続など、景気が下押しされるリスクにより先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業、食品業界や一般小売業等においては、個人消費に底堅い動きや外国人観光客の増加による売上の回復がみられたものの、円安による原材料価格の上昇が懸念され、また、低価格志向がいまだ根強く、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で、当社は、競争優位性を高めるべく、コスト競争力の強化、営業体制の強化を推進しつつ、既存顧客との相互信頼関係の構築、新規顧客の開拓、サービス体制の充実に取り組み、業績の維持向上に努めてまいりました。

また、製品戦略においては、業界初となるインバーターフラワーショーケース、当社初となるジュースディスペンサーおよびスチームコンベクションオープンの製品化により販売を拡充するとともに、HCJ2015（厨房設備機器展）、第28回インターフェックスジャパン、第12回国際フラワーEXPOなどの展示会に積極的に出展し、市場へのアピールに取り組んでまいりました。

その結果、当事業年度の業績につきましては、売上高359億5千6百万円（前期比12.3%増）、営業利益61億7千1百万円（前期比11.7%増）、経常利益64億1千3百万円（前期比14.4%増）、当期純利益40億7千7百万円（前期比18.5%増）となりました。

品目別の状況は次のとおりであります。

製品の売上高は、前期比12.1%増の257億8千1百万円であり、総売上高に対する構成比は71.7%となっております。

なお、主な製品は、厨房用縦型冷凍冷蔵庫、店舗用縦型ショーケース、横型冷凍冷蔵庫、製氷機であります。

商品の売上高は、前期比17.4%増の66億1千9百万円であり、総売上高に対する構成比は18.4%となっております。

なお、主な商品は、店舗設備機器、厨房設備機器、店舗設備工事であります。

また、点検・修理その他の売上高は、前期比4.7%増の35億5千5百万円であり、総売上高に対する構成比は9.9%となっております。

貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別 科 目	当 期 平成27年12月31日現在	前 期 平成26年12月31日現在	期 別 科 目	当 期 平成27年12月31日現在	前 期 平成26年12月31日現在
流 動 資 産	46,192	42,575	流 動 負 債	8,814	7,988
現 金 及 び 預 金	39,036	35,950	支払手形及び買掛金	3,924	2,939
受取手形及び売掛金	4,103	3,539	未 払 法 人 税 等	1,375	1,336
商 品 及 び 製 品	1,339	1,468	引 当 金	413	412
仕 掛 品	325	340	そ の 他	3,100	3,300
原材料及び貯蔵品	447	354	固 定 負 債	1,954	1,902
点検修理用部品	199	212	退職給付引当金	784	768
そ の 他	741	713	役員退職慰勞引当金	1,164	1,126
貸倒引当金	△ 1	△ 3	そ の 他	5	6
固 定 資 産	18,461	17,842	負 債 合 計	10,769	9,890
有 形 固 定 資 産	9,763	10,359	純 資 産 の 部		
無 形 固 定 資 産	90	109	株 主 資 本	53,872	50,514
投資その他の資産	8,607	7,372	資 本 金	9,907	9,907
投資有価証券	674	676	資 本 剩 余 金	9,867	9,867
そ の 他	7,965	6,728	利 益 剩 余 金	34,305	30,945
貸倒引当金	△ 32	△ 32	自 己 株 式	△ 207	△ 206
資 産 合 計	64,654	60,417	評 価 ・ 換 算 差 額 等	12	13
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	12	13
			純 資 産 合 計	53,885	50,527
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	64,654	60,417

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 (当 期) 12,587百万円 (前 期) 12,395百万円

損益計算書

(単位：百万円)

科 目 \ 期 別	当 期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで	前 期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売 上 高	35,956	32,031
売 上 原 価	14,775	12,741
売 上 総 利 益	21,181	19,289
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15,009	13,766
営 業 利 益	6,171	5,523
営 業 外 収 益	374	187
受 取 利 息 及 び 配 当 金	35	30
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	70	74
受 取 補 償 金	44	28
そ の 他 の 営 業 外 収 益	223	54
営 業 外 費 用	132	106
ス ク ラ ッ プ 処 分 費	72	68
支 払 補 償 費	38	20
そ の 他 の 営 業 外 費 用	20	17
経 常 利 益	6,413	5,604
特 別 利 益	0	7
固 定 資 産 売 却 益	0	7
特 別 損 失	38	61
固 定 資 産 除 却 損	38	61
税 引 前 当 期 純 利 益	6,376	5,550
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,186	1,923
法 人 税 等 調 整 額	111	186
当 期 純 利 益	4,077	3,440

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

平成27年1月1日から
平成27年12月31日まで

(単位：百万円)

	株 主 資 本							
	資 本 金	資 本 利 余 金		利 益 備 金	利 益 剩 余 金			
		資 本 準 備 金	資 本 利 余 金 合 計		そ の 他 利 益 剩 余 金			利 益 剩 余 金 合 計
					特 別 償 却 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剩 余 金	
当 期 首 残 高	9,907	9,867	9,867	578	534	14,170	15,663	30,945
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—	△ 204	△ 204
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,907	9,867	9,867	578	534	14,170	15,458	30,741
当 期 変 動 額								
特別償却準備金の取崩	—	—	—	—	△ 58	—	58	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 513	△ 513
当 期 純 利 益	—	—	—	—	—	—	4,077	4,077
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	△ 58	—	3,622	3,564
当 期 末 残 高	9,907	9,867	9,867	578	475	14,170	19,081	34,305

	株主資本		評価・換算差額等		純 資 産 合 計
	自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	△ 206	50,514	13	13	50,527
会計方針の変更による累積的影響額	—	△ 204	—	—	△ 204
会計方針の変更を反映した当期首残高	△ 206	50,309	13	13	50,322
当 期 変 動 額					
特別償却準備金の取崩	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	△ 513	—	—	△ 513
当 期 純 利 益	—	4,077	—	—	4,077
自己株式の取得	△ 1	△ 1	—	—	△ 1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	△ 0	△ 0	△ 0
当期変動額合計	△ 1	3,563	△ 0	△ 0	3,562
当 期 末 残 高	△ 207	53,872	12	12	53,885

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。
より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、
日々進化をしております。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」の
ステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、
「トータル力」で提供してまいります。



電子式鮮度保持

【鮮度くん】

静音設計

【DCファンモータ・インバータ制御】

センターノンピラー

冷蔵庫 / 冷凍庫

恒温高湿庫

急速凍結庫

HFC 冷媒

ノンフロン断熱

フロン回収システム

CO₂ 削減

環境保護

高性能・高付加価値



TOTAL
SOLUTIONS

クリアコートステンレス

抗菌剤

防カビ剤

庫内アール加工

衛生管理

アラーム機能

漏電ブレーカー

診断機能

サービスネットワーク

安心・安全

インバータ制御

DC ファンモータ

新マイコン

低消費電力化

節水制御

高断熱構造

NH ガラス

省エネ・省コスト

太陽光発電事業への参入と事業拡大

当社は業界に先駆け、冷蔵庫の本体・扉の断熱材にシクロペンタンを採用しノンフロン化を実現、
環境への取り組みを行ってまいりました。2013年5月より佐伯工場で太陽光発電にも参入いたし
ました。また同年12月より大和工場でも展開、さらに2014年7月からは佐伯市床木地区でも2
メガワットの大型設備を稼働させております。3拠点の総発電量は4.3メガワットとなり、当社年間
消費電力量の約6割を賄っている状況にあります。

今後も再生可能エネルギー事業拡大を進め、CO₂排出量の抑制に努めてまいります。



佐伯市床木地区太陽光発電設備

2015年の主な新製品



インバータ制御フラワー冷蔵ショーケース
はな庫ちゃん

省エネ性能に優れたインバータ制御フラワー冷蔵ショーケースが新登場。
LED 照明を標準装備し、前面ガラス側からの照明を追加することで演出効果を向上。断熱性能が高いNHガラス採用により、ガラス面の結露を抑えます。



**GOOD
DESIGN**

スライド扉冷蔵庫

2014 年度グッドデザイン賞を受賞した、スライド扉冷蔵庫シリーズにインバータ制御冷凍庫が新登場。
インバータ制御冷蔵庫・インバータ制御冷凍庫・冷凍冷蔵庫とラインナップが増えました。



ジュースディスペンサー

左右独立した冷却運転が可能なジュースディスペンサー。
マイコン制御により、各タンク別々の温度設定が可能。コンパクト設計ながら、冷却部プレートによりジュースをしっかり冷却します。



**スチームコンベクション
オーブン**

焼く・蒸す・煮込む・炊く・揚げると1台で多様な調理。調理は温度・時間でコントロールするので均一の調理が提供可能。
ホテルパンサイズで選べる2タイプをラインナップ。

2016年の主な新製品



インバータ制御冷凍・冷蔵庫

エコ蔵くん

インバータ圧縮機・凝縮ファンの変更、断熱性の向上等により、さらに省エネ性能を高めました。また、オートクローズ性、フィルター清掃性の向上により、使い勝手が向上しました。(代表機種)



コールドテーブル

ドア間口寸法を拡大することで、食材の出し入れがしやすくなり、定格内容積もアップ。また、フィルター引出し式のフロントパネル採用で清掃性が向上、庫内灯LED化と併せて一段と使い勝手が向上しました。(代表機種)



真空包装機

保存・おいしさ・安全性、真空パックが商品の価値を高めます。加熱調理品に対応したホットパックタイプの他、液晶タッチパネルタイプや小型タイプ等の卓上型4タイプをラインナップ。



インバータ制御対面ショーケース

エコ蔵くん

新たに電源 100V 仕様がラインナップに新登場。親水・抗菌トレイ採用で清掃性が向上。雑菌の繁殖等を抑制し、庫内を衛生的に保ちます。

会社の概況

平成27年12月31日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英名	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式365,686株を含む）
期末株主総数	2,970名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,223名
事業内容	・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理 ・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理 ・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理 ・ 店舗・厨房の企画、設計および施工

役員

平成28年3月25日現在

代表取締役社長	尾崎 敦史
専務取締役	杉田 壽文
常務取締役	小野 宏男
取締役最高顧問	尾崎 茂
取締役	前川 馨
取締役	西久保 博康
取締役	小野 芳明
取締役	尾崎 雅広
取締役	工藤 雅哲
常勤監査役	大津 一郎
監査役	日下 敏彦
監査役	野津 孝義

- (注) 1. 取締役 西久保博康、小野芳明の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 日下敏彦、野津孝義の両氏は、社外監査役であります。

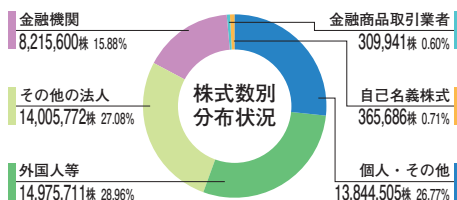
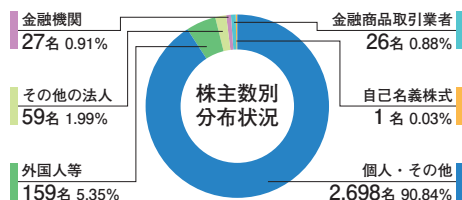
執行役員

平成28年3月25日現在

社長執行役員	尾崎 敦史
専務執行役員	杉田 壽文
常務執行役員	小野 宏男
執行役員	前川 馨
執行役員	尾崎 雅哲
執行役員	工藤 雅哲
執行役員	大久保 雅和
執行役員	江村 出典
執行役員	平津 留彰
執行役員	中津 留彰
執行役員	小西 隆

株式分布状況

平成27年12月31日現在



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
特別口座の口座管理機関連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う (公告掲載URL http://www.drk.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。

